NIE実践報告

1．タイトル：☆さまざまな社会問題について自分の頭で考えをまとめよう

2．学校名

北海道江差高等学校

3．実践者名（代表者名）

武藤　禎弘

4．学年

第1学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代社会　32人

6．単元（本時の学習課題）名

自分の考えを書こう

7．目標（狙い）

さまざまな社会問題について、その問題点を指摘し、それについての自分の考えを文章化する。

8．評価の視点

事実に基づき、根拠を記して、自身の意見を伝えることができるか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「国際人権条約の未批准問題」2時間、「小中高生の暴力行為件数」1時間、「捕鯨をめぐる問題」1時間、
「人生相談」1時間　合計5時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)「離婚した外国人父親による誘拐事件」についての新聞記事を読み、問題点を指摘し、自身の考えを記す。
(2)「国際条約の未批准の問題点」を指摘した上記事件に関連する社説を読み、自身の考えを記す。
(3)「小中高生の暴力行為件数」について、読売・朝日・毎日の記事の扱いを比較した後、朝日の記事について、自身の考えを記す。
(4)「捕鯨をめぐる問題」についての子ども向け新聞解説を読み、問題点を指摘し、自身の考えを記す。
(5)「部活、真剣なのは私だけ」という新聞紙上人生相談を読み、相談者の抱える問題点を指摘し、自身の考えを記す。
(留意点)
・新聞紙上で何を問題視しているかについて、明らかにさせる。
・ある考えについて、「賛成」または「反対」または「判断できない」という意見を明確に示させる。
・生徒自身の知識・経験から根拠を明らかにして、意見を記させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

回を重ねるごとに問題点の指摘が鋭くなり、自身の考えを明確に伝えることができるようになった。新聞記事にかかわる授業を生徒たちは楽しみにしているようにも見受けられる。

12．成果と課題

生徒たちの関心を社会問題全般に向けさせることについては成果があった。さらに、テーマを絞って深く考えさせる試みをさせてみたい。